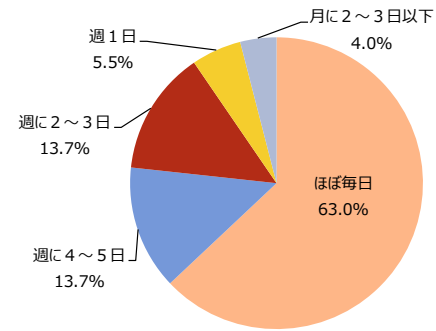


01 Woman's Trend

ちょっとしたヒマつぶし、気分転換のつもりだけど…約6割が1日に30分以上、没頭？

日々のスキマ時間に確実に浸透している、スマホゲーム

グラフ1 ゲームをする頻度 (524n)



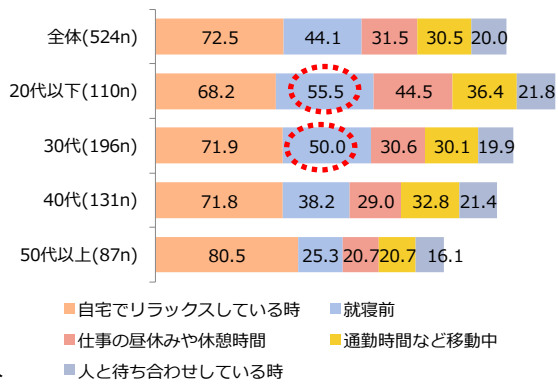
電車に乗って車内を見回すと、乗り合わせた人の7~8割がスマホを見ている。ニュース、SNS、マンガ…と見ている内容は様々だが、しきりに指を動かしている人も。何をしているのかそと覗いてみると、ゲームをしている様子を見かけることが多くなった。そこで今回は、スマホやタブレットでのゲームについて調査。ゲームを「よくする」「たまにする」524人に、どのように楽しんでいるのか聞いた。

まず、ゲームをする頻度は「ほぼ毎日」が63.0% (グラフ1)。小さい子どもを抱える母親(末子が未就学児、小学生)でも5割台と半数を超える。ゲームをするタイミングで多かったのは「自宅でリラックスしている時」が72.5% (グラフ2)。ただし20代以下、30代の若い層では「就寝前」も50%台と多く、睡眠の質への影響が気になる。

ゲームをする理由は「暇つぶし」が72.9%、「気分転換」が54.8%と圧倒的だが (グラフ3)、1日あたりの、のべ時間は「30分以上」が約6割 (グラフ4)。子育てに追われているであろう、末子が未就学児、小学生の人でも「15分未満」は

グラフ2 ゲームをするタイミング

*複数回答・上位5項目 (%)



2割を切っており、皆、それなりの時間を費やしていることが分かる。

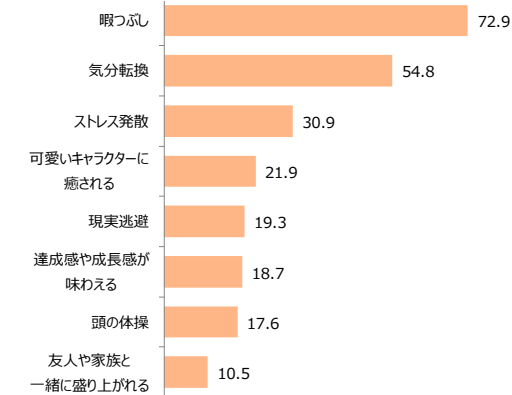
よく遊んでいるゲームの種類はパズル系が圧倒的なトップ (表1)。2位以下からは世代別の違いが見られ、50代以上は「クイズ・脳トレ」のポイントが高くなる。

最もハマっているゲームの継続期間は「3年以上」が23.1%で、比較的長く続いている様子が見てとれるが、今までに「始めたものの続かなかったゲームがある」と回答した人は、73.7%。その理由は「飽きた」が最も多くなっている (グラフ5)。人気のパズルゲームでは、ポイントがゲットできるイベントや新キャラの投入など、飽きさせない工夫が盛りだくさんのものも少なくない。

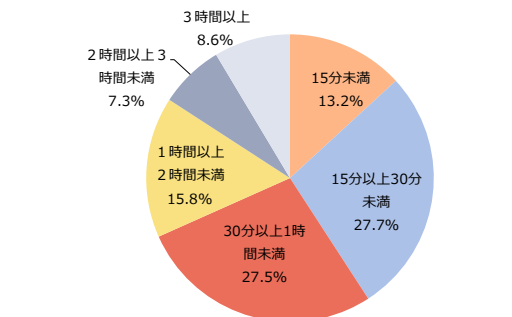
「今後もゲームを続けたい」という90.8%にその理由を聞いたところ、「子育て中のママにとって数少ない息抜き・自分の時間」という声や、「家族のコミュニケーションになる」という声も見られた。

グラフ3 ゲームをする理由

*複数回答・10ポイント以上の項目 (%)



グラフ4 ゲームをする1日あたりののべ時間 (524n)



わざわざゲーム機を購入しなくても、いつも持ち歩いているスマホで気軽にできるようになったゲーム。忙しい女性たちのちょっとしたスキマ時間に、確実に入り込んでいる。

(室長・西 桂子)

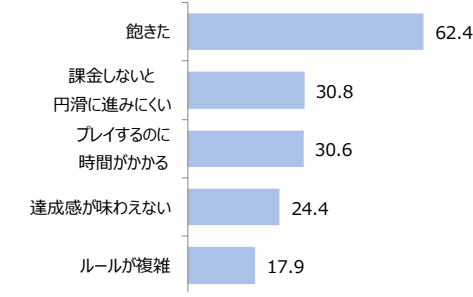
表1 よく遊んでいるゲームの種類ランキング

*複数回答

	20代以下 (110n)	30代 (196n)	40代 (131n)	50代以上 (87n)
1位	パズル・パズルアクション・パズルRPG 61.8%	パズル・パズルアクション・パズルRPG 63.3%	パズル・パズルアクション・パズルRPG 68.7%	パズル・パズルアクション・パズルRPG 54.0%
2位	音楽&リズムゲーム 18.2%	クイズ・脳トレ 15.3%	育成ゲーム 13.7%	クイズ・脳トレ 26.4%
3位	RPG・MMORPG・アクションRPG 15.5%	RPG・MMORPG・アクションRPG 14.3%	クイズ・脳トレ 13.0%	カードゲーム・テーブルゲーム・ボードゲーム 16.1%
4位	育成ゲーム 14.5%	育成ゲーム 13.3%	カードゲーム・テーブルゲーム・ボードゲーム 10.7%	育成ゲーム 10.3%
5位	国づくり・街づくり 13.6%	国づくり・街づくり 11.7%	位置情報 (ポケモンGOなど) 9.9%	位置情報 (ポケモンGOなど) 9.2%

グラフ5 続かなかったゲームの理由

*複数回答・上位5項目386n (%)



〈今後もゲームを続けたい理由 フリーアンサーから〉

飽き性なのですが、1ゲームあたり3分ほどで終わるので、無理なく楽しめます (33歳) / 子育て中で一人になる時間がないため、せめて少しの間だけはのんびりしたい (27歳) / 時間潰しになるし、子どもたちとの会話にもなる (38歳) / 子育て中でなかなか自分の時間が取れないけど、ちょっとした隙間時間にゲームをすつとリフレッシュになる (32歳) / 良いストレス発散になる。また家族との交流の一部だから (31歳) / 夫婦の話題になるから。そうでないと話が無い (54歳)

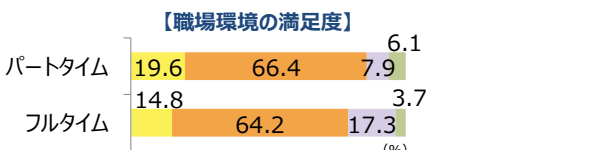
02 Working Woman's Real

【主婦の仕事満足度】 「もう少し長時間働きたい」パート勤務者少数だが、ブラックな状況に不満も…

35~69歳の働く女性に、仕事の満足度を5項目に分けて聞いたところ、「雇用形態」以外の4項目で、パートタイム勤務者の満足度がフルタイム勤務者を上回った。家庭や自身の生活とのバランスをとりながら、自分らしい働き方に満足しているパートタイム勤務者は多いようだ。

「労働時間」について、「やや不満・不満」という人の割合はさほど変わらないものの、その理由のフリーアンサーをみると、パートタイム勤務者では「もう少し長時間働きたい」という内容が目立った。夫の扶養範囲内に収めたいという働く側の都合もあるが、会社都合で労働時間を制限されているという声も。

全般的に「やや不満・不満」は10%~20%台とあまり多くはないが、不満の理由 (フリーアンサー) では「勤務時間外で要求される仕事が多すぎて困る」など、ブラックな雇用・労働状況が散見される。



2018.5.22~5.31、全国の働く女性 (35歳~69歳) を対象としたWeb調査 集計数:パートタイム勤務者214人、フルタイム勤務者81人

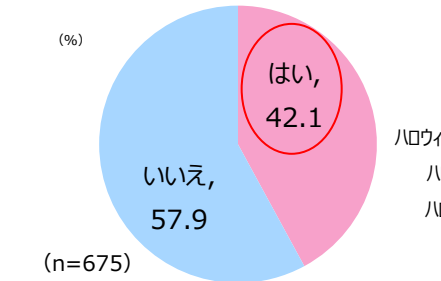
03 Seasonal Data

ハロウィンに関するデータはくらしHOWサイト「暮らしの歳時記と消費」に掲載中!

子どもたちの仮装費用は1000円以上3000円未満がボリューム 仮装人気は「魔女」「ディズニー」「かぼちゃ」

【同居の子どもは昨年のハロウィンに参加したか】

*同居の子どもがいる人が回答

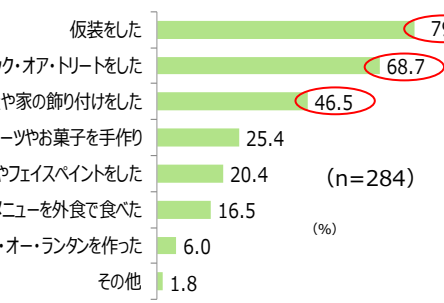


近年、日本でも盛り上がりを見せるハロウィン。同居の子どもがいる女性に、昨年のハロウィンに子どもが参加したかどうかを聞いたところ、参加率は42.1%。男女比は4:6ぐらいで、小・中学生になるに従って男子が減っていき、女子が多いイベントに。

ハロウィンでやったことは「仮装」「トリック・オア・トリート」「部屋や家の飾り付け」がトップ3で、仮装率は約8割。子どもたちが仮装したのは「魔女・魔法使い」が24.3%、「白雪姫やエルサなどディズニーキャラ」が

【同居の子どもが昨年ハロウィンでやったこと】

*昨年のハロウィンに参加した同居の子どもがいる人が回答



18.1%、「かぼちゃ」が14.2%で上位に。魔女やディズニーキャラに扮したのは女子、かぼちゃに仮装したのは男子に多い。衣装は77.4%が「購入」。仮装費用は「1000円以上3000円未満」が38.5%で最多だが、男子は「1000円未満」が最も多く (44.6%) 比較的小金をかけていない。

昨年参加した子どもは、9割以上が今年も「参加する」「たぶん参加する」と回答。子どもハロウィンはこれからも定番のイベントになっていきそうだ。

調査方法/Webアンケート 調査対象/「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふぁんWeb」ユーザー 調査対象の子どもの年齢/未就学児: 51.1%、小学生: 33.5%、中学・高校生以上: 15.5% 調査期間/2018.08.08~08.19 有効回答数/同居の子どもがいる女性675人 (平均年齢: 43.0歳)